

創立80周年を祝して

我が八ヶ岳中央農業実践大学校は、創立以来種々組織の改編を重ねながら、本年を持ちまして創立80周年を迎えることができました。

創立70周年を盛大に祝ってから10年たちました。この間で起こりました出来事で、最大のものが二つあります。その一つは、平成22年に勃発した国からのサポートが打ち切られたことあります。大学校が国の施策の一環として行われていたという歴史的ないきさつに終止符が打たれたと言っても過言ではありません。二つ目は、平成24年に公益認定を受けて、新しく公益財団法人農村更生協会傘下の農業大学校となったことあります。これは、従来の農林水産省の監督下にあった大学校が実質的にそれから外れたということあります。この二つの出来事によって、八ヶ岳中央農業実践大学校は、経営的に完全に独立した法人として運営していくことになりました。これに伴って、財政上にも非常に厳しい状況に置かれた訳ですが、職員一同一丸となって克服すべく活動して参りました結果、徐々に立て直しつつあります。

こうした状況の変化はありますが、大学校としての伝統は脈々と受け継がれております。農業に対して「夢と志」をもって当たるという教育方針は揺るがないものでありますし、師弟同行による徹底した実践教育も然りであります。国の施策としても農業後継者の育成は喫緊の課題として上げられており、学生の卒業後の進路も大半が就農の道を目指しておりますことから、まさに本校の学生はその金の卵と言っても過言ではありません。

農業をとりまく情勢は余談を許さないのは事実であります。新しい息吹もどんどん生まれてきております。教育内容の革新を求めて、大学校としても新しい試みを始めております。ベンチャー企業等が開発しているユニークな技術を取り込むための「八ヶ岳フォーラム」や農業生産部門における最新・最高の生きた科学技術を論ずる場としての「農林技術アカデミー」などを介して、新たな方向を見出すべく努力をしております。八ヶ岳中央農業実践大学校の未来は決して暗いものではありません、一丸となって進んで参ります。今後ともどうかこれまでに倍するご指導、ご鞭撻をお願い致します。

於平成30年10月27日 創立80周年記念式典

八ヶ岳中央農業実践大学校校長 清水矩宏

はじめに一農の教育方針

平成が終わろうとするこのとき、八ヶ岳中央農業実践大学校は創立80周年を迎えました。その基本目的は「**農で夢と命を育む**」とされ、農業・農村の持続的発展に寄与できる高度な技術と先見性のある経営管理能力を併せ持つ、たくましい農業経営者や地域農業指導者を養成することを校是に、連綿と受け継がれてきました。

具体的には、

- 1 一農年専作活動に徹し、作物においては一作期総ての技術を、家畜においては通年の飼養管理技術を体得する徹底した実践教育により、農業経営に必要な学理、技術、感覚を身につける。
- 2 師弟同行による職員・学生一体となった生産実習をとおして、勤労の尊さと喜びを体得し、「いのち」を育む心を養う。
- 3 現代農業における問題点を掘り起こし、それらをテーマとしたプロジェクト研究により、問題解決能力を身につけるとともに、新しい技術や経営方式を創造する能力を育てる。
- 4 農畜産物の販売活動をとおして、消費者ニーズの把握、消費者への情報発信、農業者としての生き甲斐、農業の持つ社会的使命についての認識を深める。
- 5 自治寮での共同生活をとおして、規律正しい生活習慣を身につけるとともに、思いやりの心連帯感、協調性及び自治能力を養う。



平成20年10月17日 石黒・小平・久保三氏公德碑建立しました

目次

最近10年の歩み

- 大学校全体の動き
- 専攻部門別の記録
- 八ヶ岳フォーラムの設立
- 農林技術アカデミーの設立

トピックス編

- 公益法人化
- 認定農業者

資料編

- 学生の動向
- 卒業生名簿
- 農村更生協会役員名簿
- 職員・組織図
- カリキュラム
- 財務状況
- 土地利用図

新聞への掲載

暁天会の活動

